



NE VISION

第51期 第2四半期株主通信

2012年7月1日～2012年12月31日

株主のみなさまへ 1

決算ハイライト 3

部門別の概況 4

主要財務データ 5

プロジェクト紹介 8

企業インフォメーション 9

株主メモ 11



大日本コンサルタント株式会社
NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO.,LTD.

株主のみなさまへ



代表取締役社長 川神 雅秀

株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
「第51期第2四半期株主通信」をお届けするにあたり、上半期経営状況の概況報告と創立50周年を迎え、経営に臨む新たな決意を述べさせていただきます。

上半期の経営状況のご報告

先ず、受注概況ですが、上半期の受注は、震災復興事業や全国防災対策事業等を中心に全国的に高い伸び率で推移しました。その結果、7月より12月末の間で受注総額は約75億円（前年同四半期比40%増）となりました。さて、昨年末誕生した安倍政権は、デフレ脱却・景気回復を早期に実現するため、緊急経済対策として公共事業（「国土強靱化」等）の促進を主要政策と位置づけています。当社は、この追い風が吹く経営環境を最大の好機と捉え、受注拡大に全力を傾注します。具体的には、下半期の受注ターゲットを震災復興事業や国土強靱化事業に関わる業務の確保とし、国土交通省の技術提案型業務の特定強化と地方自治体からの受注強化等に総力を

を挙げて取り組みます。

次に操業概況ですが、総手持業務額については、12月末で129億円程（前期同月比32%増）を確保しました。しかし、年度末納期の業務が大半を占めたことから、上半期での売上総額は17.5億円程に留まる結果となりました。今後の下半期の操業は、技術系社員を総動員して手持業務の成果作成に全力で取り組むと同時に、成果内容についてお客様から高い評価を得るべく力を尽くしたいと考えています。

創立50周年を迎えて

当社は、本年1月23日に創立50周年を迎えました。今日までの株主の皆様の絶大なるご支援とご理解に対し、ここに深く感謝を申し上げます。

顧みますと、昭和38年の誕生から半世紀が経過する過程で、世の中は、高度経済成長期、バブル景気とその後の経済破綻、そして長引く景気低迷の時代へと環境が変化し、その中で、私たちの先達は、社業の発展を夢見て、国家繁栄の基盤である社会資本の整備に主導的立場で参画し、立派に使命を果たすと同時に、当社の礎を創り社業の発展に貢献されました。

当社は、「社会への最高の技術サービスをもって企業価値の高揚を図る」ことを標榜する知的技術者集団であり、創立時より一貫して培ってきた、「独創自立に基づく、不撓不屈の精神」が今日までの社業を支え、加えて、「技術を磨き、技術を競い合う組織」、「自由闊達に議論が飛び交う組織」、「暖かい気持ちが流れる組織」でありたいと願い努力した結果が、危機にはさらに結束する集団を築き上げました。

今の時代を生きる私たちは、先達の偉業を振り返り、それを教訓とした上で、さらなる社業の発展を目指し、経営健全化に向けた改革、そして事業拡大への挑戦を着実に実現する使命を担っています。私たちは、新たな一步を踏み出すこの機会に改めて、「社会への最高の技術サービスをもって企業価値の高揚を図る」という企業理念を再認識し、「社会の人々のお役に立つ」という熱い想いと使命感を抱き、あらゆる可能性に挑戦してまいります。

最後になりましたが、今後とも株主の皆様の一層のご支援を切にお願い申し上げます。

平成25年2月



写真上段：川神社長による50周年記念植樹

写真下段：50周年記念社史

当社ホームページにて、50周年記念行事の概要と社史の一部をご紹介します。ぜひご覧ください。

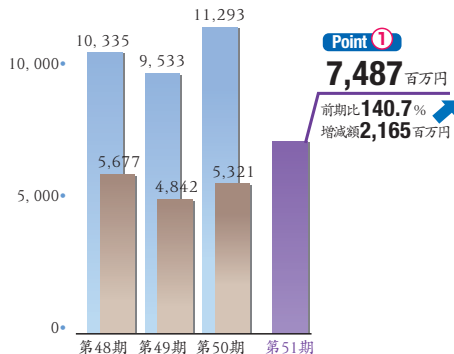
URL：<http://www.ne-con.co.jp/>

決算ハイライト

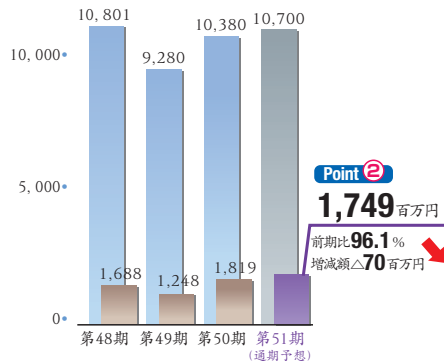
(単位：百万円)

- Point ①** 受注高は、震災復興・防災関連業務の受注が堅調に推移した結果、前期比140.7%達成。
- Point ②** 売上高は、年度末業務が大半を占めた影響で前期比96.1%に留まる。
- Point ③** 経常利益は、生産効率の改善を継続実施するものの固定費の増加により前期比△56百万円減。

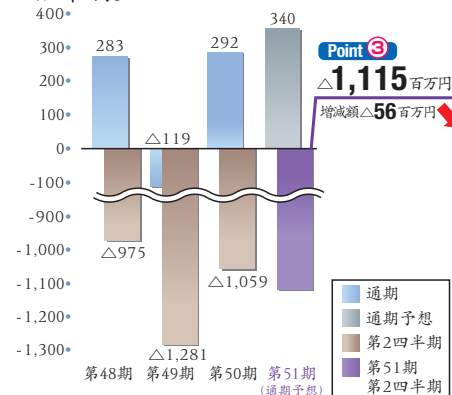
● 受注高



● 売上高



● 経常利益

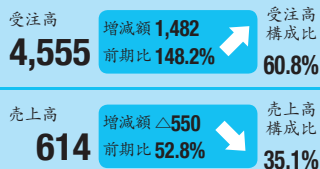


- ※ 1. 第51期通期は予想数値です。実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。
- ※ 2. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

部門別の概況

(単位: 百万円)

構造保全



【事業内容】

橋梁や地下構造物等を中心とした新設構造物の設計及び既存構造物の点検・補修・補強・修繕計画等の保全関連業務

【主な受注業務】

- ・北勢国道事務所管内における475号東海環状いなべ地区橋梁詳細設計業務
- ・近畿技術事務所管内における北東部地区橋梁点検業務

社会創造



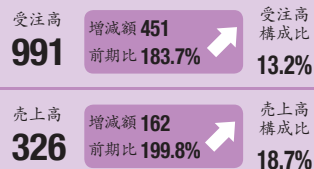
【事業内容】

道路計画・設計、交通計画、都市及び地方計画、環境調査・計画等に関する業務

【主な受注業務】

- ・宮城県女川町における離半島部復興マスタープラン検討業務
- ・宮城県石巻市における総合運動公園実施設計業務

防災



【事業内容】

河川・砂防計画、地質調査、探査、港湾等の調査・計画・設計に関する業務

【主な受注業務】

- ・渡良瀬川河川事務所管内における土石流危険渓流対策検討業務
- ・愛媛県における海岸施設等津波対策検討業務

海外・施工管理



【事業内容】

国外における道路及び橋梁建設プロジェクトの調査・計画・設計業務ならびに国内外における工事の実施に関する施工監理業務等

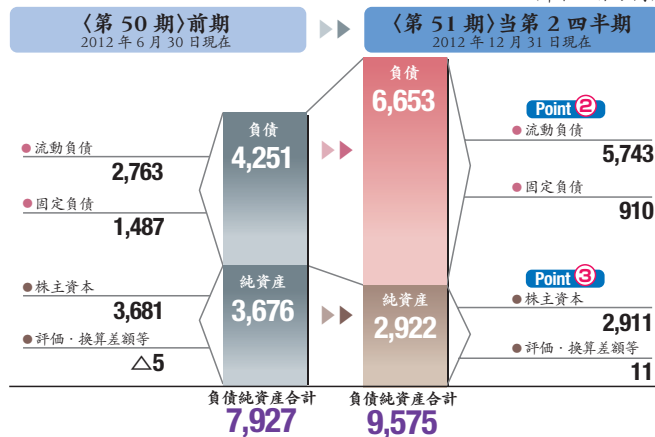
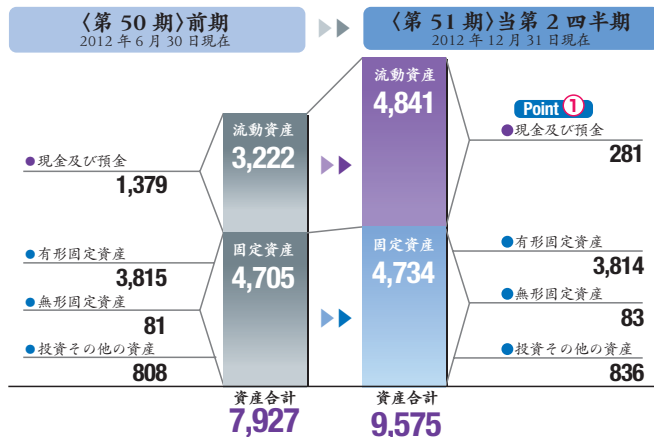
【主な受注業務】

- ・フィリピン国環状3号線建設事業準備調査
- ・福島県金山町における地域活性化施設改修工事監理業務

貸借対照表の概要

- Point ①** 流動資産は、期末に向けた仕掛中の業務の増加によりたな卸資産が増加。
Point ② 流動負債は、金融機関より運転資金の調達を実施したために増加。
Point ③ 評価・換算差額等は、保有上場株式の時価が上昇したことによる増加。

(単位：百万円)



注 1. △印は、マイナスを示しております。
 2. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

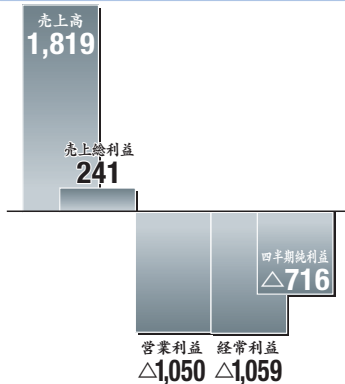
損益計算書の概要

- Point ①** 売上高は、年度末業務が大半を占めた影響で前期比96.1%に留まる。
Point ② 営業利益は、生産効率の改善を継続実施するものの固定費の増加により前期比59百万円減。
Point ③ 四半期純利益は、特別損失の発生がなかった影響により前期比8百万円減に留まる。

(単位：百万円)

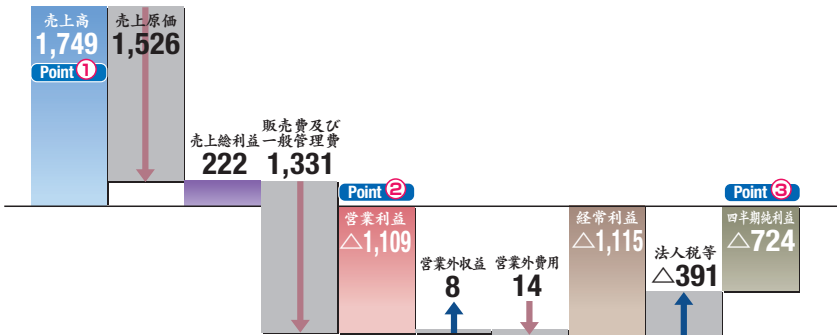
〈第 50 期〉前第 2 四半期

2011 年 7 月 1 日から 2011 年 12 月 31 日まで



〈第 51 期〉当第 2 四半期

2012 年 7 月 1 日から 2012 年 12 月 31 日まで



- 注1. △印は、マイナスを示しております。
 2. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

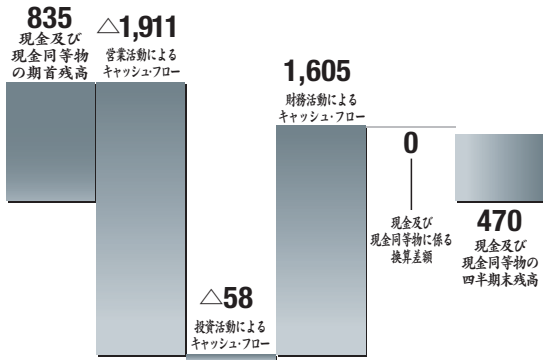
キャッシュ・フロー計算書の概要

- Point ①** 営業活動CFは、堅調な受注であったものの、たな卸資産の増加により前期比130.6%の使用。
- Point ②** 財務活動CFは、前期に比べ金融機関からの借入が減少した結果、前期比91.3%の獲得。
- Point ③** 現金及び現金同等物の四半期末残高は、営業活動CFの支出が収入を上回ったため、期首残高から大幅減。

(単位：百万円)

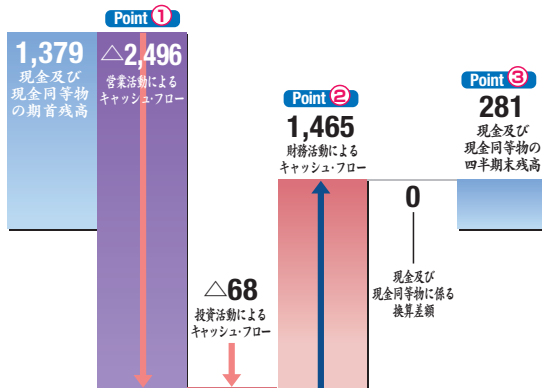
〈第50期〉前第2四半期

2011年7月1日から2011年12月31日まで



〈第51期〉当第2四半期

2012年7月1日から2012年12月31日まで



- 注1. △印は、マイナスを示しております。
 注2. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

津波避難タワー設計業務 ～道路空間を利用した全国初の計画～

津波避難タワーは、津波被害が想定される地域で、地震の発生から津波到達までの時間及び地理的条件等の理由から、安全な高台等への避難が困難な周辺住民が、一時的な避難場所として活用する施設です。

建設に一定の敷地を必要とする従来型の津波避難タワーとは異なり、道路空間を有効活用する歩道橋型の構造で、通常時の歩道橋を兼ねた津波避難施設は全国初の計画です。

なお、タワーの性能は、大津波と大規模地震が同時に発生しても各部材が弾性域(除荷すると変形が元に戻る状態)に収まり、壊れない安全な構造で、地盤の液状化にも対応しています。

当社は、静岡県吉田町から業務を受注し、複数のタワーの詳細設計を担当しております。



【歩道橋型の津波避難タワー完成イメージ】

企業インフォメーション

会社概要

(2012年12月31日現在)

社 名 大日本コンサルタント株式会社
NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO., LTD.
設 立 1963年(昭和38年)1月23日
資 本 金 13億9千9百万円
社 員 社員総数 559名(男性529名 女性30名)
平均年齢 44.9歳
平均勤続年数 15.8年
子 会 社 Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd.
N E テクノ株式会社

役員一覧

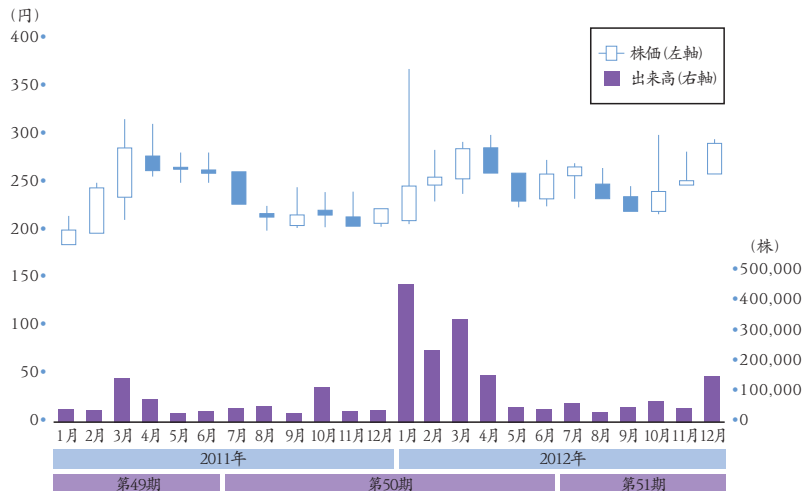
(2012年12月31日現在)

代表取締役社長	川神 雅秀	常 勤	監 査 役	古田 寛志
専 務 取 締 役	高久 晃	監 査 役	※吉田 勝	
常 務 取 締 役	藤田 隆	監 査 役	※多田 勝仁	
常 務 取 締 役	土井 朗			
取 締 役	新井 伸博			
取 締 役	折原 久治			

※社外監査役

株価データ

(2011年1月～2012年12月)



(2012 年 12 月 31 日現在)

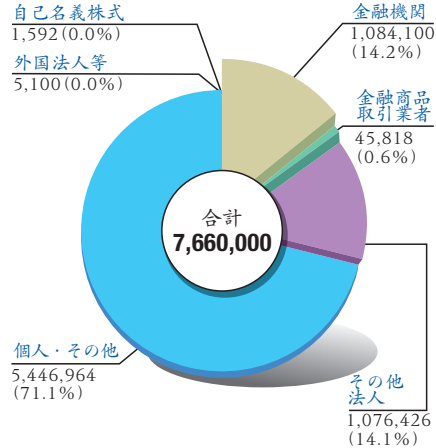
株式の状況

発行可能株式総数 24,000,000 株
発行済株式の総数 7,660,000 株
株主数 1,487 名
(前期末比 65 名減)

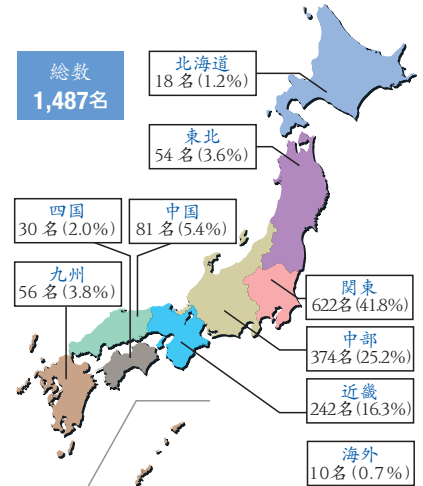
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大日本コンサルタント社員持株会	786	10.26
原田 始	627	8.19
大日本コンサルタント社友持株会	450	5.89
株式会社 北陸銀行	325	4.25
古河機械金属 株式会社	190	2.48
株式会社三菱東京UFJ銀行	181	2.37
川田テクノシステム株式会社	172	2.25
富士前鋼業 株式会社	165	2.15
富士前商事 株式会社	146	1.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	140	1.83
三菱UFJ信託銀行 株式会社	140	1.83

所有者別株式数の分布



地域別株主の分布



株主メモ

株式に関する事項

事業年度	7月1日～翌年6月30日
定時株主総会	毎年9月
基準日	定時株主総会 6月30日 期末配当 6月30日
1単元の株式の数	100株
公告の方法	電子公告により行います
公告掲載URL	http://www.ne-con.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第二部)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)

当社お問い合わせ窓口

経営企画室IR担当
〒170-0003 東京都豊島区駒込三丁目23番1号
TEL 03-5394-7611(代) E-mail info@ne-con.co.jp

ホームページのご案内

会社情報、事業紹介、株主・投資家情報などを公開しております。ぜひご利用ください。



大日本コンサルタント 検索

URL:<http://www.ne-con.co.jp/>

この用紙は再生紙を利用しています。

